

第6章 計画の展開



1 施策・事業の体系

2 施策・事業の展開

1 施策・事業の体系

(1)~(4) ⇒ 基本施策

重 重点施策・事業

◇ 関連する市の諸計画

基本目標 1 成長し続けるための基盤を培う

(1) 確かな学力を育む教育の推進

- ① 義務教育9年間の系統性を生かしたカリキュラムの充実
- 重** ② 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善
- ③ 教育データを活用した学習指導の推進

(2) 豊かな心を育む教育の推進

- 重** ① 「宮っ子心の教育」による認め励ます教育や
たくましさの涵養などの推進
- ② 豊かな感性を育む機会の充実

◇第2次宇都宮市文化振興基本計画

◇宇都宮市スポーツ推進計画

(3) 健康で安全な生活を実現する力を育む教育の推進

- 重** ① 体力向上の推進
- ② 学校保健の推進
- ③ 食育の推進
- ④ 学校安全の推進

◇宇都宮市学校健康教育推進計画

◇第4次宇都宮市食育推進計画

(4) 将来への希望と協働する力を育む教育の推進

- 重** ① 宮・未来キャリア教育の推進
- ② 社会に参画し、協働する力を育む教育の推進

◇第2次健康うつのみや21

基本目標 2 未来を生き抜く力を養う

(1) グローバル社会に主体的に向き合い、郷土愛を醸成する教育の推進

- 重** ① 英語教育・国際理解教育の充実
- ② 郷土への愛情を育む学習の推進

◇第3次宇都宮市国際化推進計画

(2) 情報社会と科学技術の進展に対応した教育の推進

- 重** ① 自律した情報の使い手を育む教育の充実
- ② 先進技術に触れる教育活動の推進

◇第3次宇都宮市学校ICT化推進基本計画

(3) 持続可能な社会の実現に向けた担い手を育む教育の推進

- ① 地域を支える力を育む教育の推進
- ② 人がともに支え合う社会の担い手を育む教育の推進
- ③ 身近な環境を守ろうとする態度を養う教育の推進

基本目標 3 多様な児童生徒の状況に応じた指導・支援を行う

(1) インクルーシブ教育システムの実践に向けた特別支援教育の推進

- ① 学校の組織的対応力の強化と支援体制の充実
- ② 合理的配慮に係る早期からの連携強化
- 重** ③ 教育的ニーズに応じた教職員の指導力の向上

◇第2次宇都宮市特別支援教育基本計画

(2) いじめ・不登校対策の充実

- ① 魅力にあふれ安心して過ごせる学校づくりの推進
- ② いじめへの対応強化とネットトラブル等の未然防止
- 重** ③ 不登校児童生徒の個々の状況に応じた支援の充実
- ④ 学校・家庭・地域・関係機関等の連携強化

(3) 外国人児童生徒等への適応支援の充実

- ① 外国人児童生徒等への指導の充実
- ② 多文化共生の理解促進
- ③ 外国人児童生徒等の保護者への支援

(4) 多様な教育的ニーズへの対応の強化

- ① 問題行動・非行への対応、児童生徒指導の充実
- ② 「性的マイノリティ」とされる児童生徒への対応
- ③ 児童虐待防止対策の推進
- ④ 子どもの貧困、ヤングケアラー対策の推進

◇第4次宇都宮市男女共同参画行動計画

基本目標 4

教職員がいきいきと勤務できる環境を整え、信頼される教職員を育てる

(1) 教職員の資質・能力の向上

- 重 ① キャリア・ステージに応じた教職員育成システムの推進
- ② 授業力、学級経営力の育成
- ③ 先進的教育研究の推進
- ④ 自信と誇りと気概のある教職員の育成

◇宇都宮市教職員研修計画

(2) チーム力の向上

- ① 多様な支援スタッフの配置・活用
- ② 学校と地域学校園のチーム力を生かすマネジメント力の向上

(3) 学校における働き方改革の推進

- 重 ① 業務の効率化の推進
- 重 ② 勤務時間の適正化の推進

基本目標 5

地域とともにある学校づくりを進める

(1) 全市的な学校運営・教育活動の充実

- 重 ① 全小・中学校の教育水準の向上
- ② 地域の教育力を生かした教育システムの推進

(2) 主体性と独自性を生かした学校経営の推進

- ① 特色ある学校づくりの推進
- ② 地域学校園を生かした学校運営の推進

(3) 地域と連携・協働した学校づくりの推進

- ① 家庭・地域とのつながりの強化
- 重 ② 幼児教育施設と小学校の教職員同士の相互理解の深化
- ③ 企業との連携強化

◇第3次宇都宮市地域教育推進計画

基本目標 6

新しい時代にふさわしい教育環境を整える

(1) 安全で快適な学校施設整備の推進

- 重 ① 安全で快適な学校づくりの推進
- ② 地域の防災施設としての環境整備の推進
- ③ 学校のバリアフリー化の推進

(2) 学校のデジタル化推進

- 重 ① デジタル環境の整備と充実
- 重 ② 校務のデジタル化推進
- ③ 学校図書館の学習・情報センターとしての機能充実

◇第3次宇都宮市学校ICT化推進基本計画

2 施策・事業の展開

基本目標 1

成長し続けるための基盤を培う

目指す姿

- (1) 児童生徒は、主体的に学習に取り組み、周りの人たちと協力したり、デジタル機器を効果的に活用したりすることなどを通して、確かな学力を身に付けています。
⇒指標①・補足指標①
- (2) 児童生徒は、自己肯定感が高く、失敗や困難を乗り越えて挑戦し続けるたくましさをもっています。また、思いやりやルールを守る心もち、自他の生命や人権を尊重しています。
⇒指標②・補足指標②・③
- (3) 児童生徒は、自ら考え行動し、心身ともに健康で安全な生活を送っています。
⇒指標③・補足指標④
- (4) 児童生徒は、夢や目標をもち、自らの夢の実現に向けて努力しています。また、集団の中で自分のよさを発揮し、他と協働しながら集団や社会に貢献できるよう努力しています。
⇒指標④・補足指標⑤・⑥

指 標

指 標 名	現状	目標				
	2021 (R3)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)
①全国学力・学習状況調査における中3生の正答率（国語，数学）の全国平均との比較 ※該当年度から過去5年間の平均値 〔全国学力・学習状況調査〕	+1.0P	+1.1P	+1.1P	+1.2P	+1.2P	+1.3P
②「自分やみんなのためになることは、がんばってやろうとしている」と回答した中3生の割合（%） 〔学習と生活についてのアンケート〕	捕捉中	87.0	89.0	91.0	93.0	95.0
③新体力テストの総合評価における中3生の(A+B)-(D+E)率（%）〔新体力テスト〕	男 32.2 女 46.4	男 40.0 女 50.0				
④「将来の夢や目標をもっている」と回答した中3生の割合（%） 〔学習と生活についてのアンケート〕	75.8	77.4	79.1	80.7	82.4	84.0

【補足指標】

指 標 名	現状	目標				
	2021 (R3)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)
①「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげている」と回答した中3生の割合（%） 〔学習と生活についてのアンケート〕	76.8	77.8	78.8	79.8	80.9	82.0
②「誰に対しても思いやりの心をもって接している」と回答した中3生の割合（%） 〔学習と生活についてのアンケート〕	93.9	94.2	94.4	94.6	94.8	95.0
③「先生は、自分のよいところやがんばったことを認めてくれる」と回答した児童生徒の割合（%） 〔学習と生活についてのアンケート〕	93.1	93.5	93.9	94.3	94.7	95.0
④好き嫌いしないで食べている中3生の割合（%） 〔学習と生活についてのアンケート〕	84.8	86.8	88.8	90.8	92.9	95.0
⑤「自分のよさを人のために生かしたいと思う」と回答した中3生の割合（%） 〔学習と生活についてのアンケート〕	89.5	90.2	90.9	91.6	92.3	93.0
⑥「グループなどの話合いに自分から進んで参加している」と回答した中3生の割合（%） 〔学習と生活についてのアンケート〕	83.0	83.6	84.2	84.8	85.4	86.0

基本目標1 成長し続けるための基盤を培う

基本施策

(1) 確かな学力^{※1}を育む教育の推進

どんなに社会が変化しても、学校で学んだことを生かせるよう、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」のほか、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力、現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力などを身に付けさせ、望む未来を自ら描き、他者と協働しながら作り上げていく資質・能力と自信を育みます。そのために、義務教育9年間を通じた学習指導を充実させるとともに、児童生徒の実態をきめ細かく分析し、一人一人の学習状況や発達の段階に応じた学習指導の充実を図ります。

各施策・事業の展開

◆は新規事業、◇は拡充事業、〔G〕はGIGAスクールとの関連、〔園〕は小中一貫教育・地域学校園制度との関連

【1-(1)-①】 関係課<学校教育課>

施策・事業名	施策・事業の目的と内容
義務教育9年間の系統性を生かしたカリキュラムの充実	<p>児童生徒にこれからの時代に求められる資質・能力を確実に身に付けさせるため、各教科等の「小中一貫教育カリキュラム」〔園〕の地域学校園化・自校化を推進し、本市独自の4・3・2のまとまり^{※2}を生かした指導の一層の充実を図ります。</p> <p>特に、後期計画においては、教職員と市教委による協働チームを立ち上げ、期ごとの知識及び技能の確実な定着を図り、次期につなげる効果的な指導方法等の研究実践[◆]に取り組みます。</p> <p>各地域学校園においては、児童生徒の実態に応じた義務教育9年間の系統的な指導の充実に向け、地域学校園の学習指導部会^{※3}などにおいて、小・中学校共通の重点目標や具体策を検討し、各教科等のカリキュラムの地域学校園化を図った上で、実施するとともに、各種調査のデータ等を活用して基礎期、活用期、発展期の各期の終わりの児童生徒の状況を確認し、指導改善に取り組む、PDCAサイクルの充実[◇]を図ります。</p> <p>また、授業中の学習態度や家庭学習の習慣などを発達の段階に応じて着実に育成するため、地域学校園共通の「学習の約束」や「家庭学習の手引き」を活用するなど、共通理解に基づく系統的な指導の充実を図ります。</p>

※1 「確かな学力」… 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に身に付け、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質・能力。

※2 「4・3・2のまとまり」… 義務教育9年間を「基礎期」「活用期」「発展期」の4・3・2の三期に分けることにより、小・中学校の接続に配慮するとともに、スモールステップによるきめ細かな指導を行えるようにするものであり、市の各教科等のモデルプランでは、義務教育9年間を通じた各教科等の

目標や各期で児童生徒が身に付けるべき力を明らかにしている。

- ※3 「地域学校園の学習指導部会」 … 園内小・中学校の学習指導主任を中心に、学習に関して地域学校園の児童生徒の共通課題、重点的に取り組む内容等を検討し、必要に応じて共同の取組を実施することを目的とするもの。

【1-(1)-②】 関係課<学校教育課>

施策・事業名	施策・事業の目的と内容
<p>重点</p> <p>「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善</p>	<p>教員が各教科等の専門性を生かすことができる、「<u>小学校高学年における教科担任制</u>」^{◇(国)}と「<u>習熟度別学習</u>」^{※1}によるきめ細かな指導により、学習の質を一層高める取組を活性化し、「<u>個別最適な学び</u>」と「<u>協働的な学び</u>」の一体的な充実[◆]を図ります。</p> <p>これらの指導方法・指導体制の工夫改善のもと、学習指導要領を着実に実施し、児童生徒がこれからの時代に求められる資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的に学び続けることができるよう、「<u>宇都宮モデル</u>」^{※2}を活用した授業づくり、「<u>1人1台端末等のデジタル機器の効果的な活用</u>」^{◆(G)}による学習活動の質的な充実に取り組むなど、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進します。</p> <p>また、高等学校で行うSTEAM教育^{※3}の基盤となる資質・能力を育成するため、児童生徒が主体的に学習テーマや探究方法を設定するなどの学習を行う「<u>(仮)U-STEAM学習</u>」^{※4}を展開し、発達の段階に応じて、教科横断的な学習や探究的な学習の充実を図ります。</p> <p>これら授業改善に向けた取組として、新たに「<u>(仮)宮っ子学びのデザインチーム</u>」^{※5}（旧授業カプロジェクトチーム）を立ち上げ、各学校における授業改善の取組を支援します。</p> <p>また、各学校においては「宮っ子まとめの月間」に加え、学期末に「<u>先生のまとめの週間</u>」^{※6}を設定し、評価結果の検討を通じて、評価に係る教員の力量の向上を図ることで、指導と評価の一体化の取組を推進します。</p>

※1 「習熟度別学習」 … 理解や習熟の程度に合わせた少人数のグループを編成して授業を行うことにより、児童生徒一人一人の状況に応じたきめ細かな指導の充実を図るもの。

※2 「宇都宮モデル」 … 市教委が主体的・対話的で深い学びの実現に向けて提案している授業モデルの一つ。「はっきり！じっくり！すっきり！」の授業展開を提案している。なお、現行の「宇都宮モデル」（P.42参照）については、その利点を最大限引き出すことができるよう、活用及び更新に関する調査研究を継続する。

※3 STEAM教育 … 「各教科での学習を実社会での問題発見・解決にいかしていくための教科横断的な教育」とされている。STEAM教育については、各国で定義が様々であるが、STEAM (Science, Technology, Engineering, Mathematics) に加わったAの範囲を芸術、文化、のみならず、生活、経済、法律、政治、倫理を含めた広い範囲で定義し、推進することが重要であるとされており、高等学校にお

ける教科等横断的な学習の中で重点的に取り組むべきものとされている。

- ※4 「(仮) U-STEAM学習」 … 高等学校で行うSTEAM教育等の基盤となる資質・能力の育成を図るために行う学習活動。各教科等において、教科横断的な学習や探究的な学習の充実を図るとともに、VR、ARや3D都市モデル等の様々な先進技術を活用した学習活動を行う。
- ※5 「(仮) 宮っ子学びのデザインチーム」 … 旧授業力向上プロジェクトチームの理念を継承した、教職員の授業づくりの支援を目的とする教職員と市教委による協働チーム。授業改善に係る諸課題を取り上げて、研究実践を行い、その成果をたよりとして発行するなど、情報発信を行う。
- ※6 「先生のととの週間」 … 担当する教科等における観点別学習状況及び評定について、授業改善の視点から分析を行い、学年会や教科部会、職員会議等における協議を経て、次の学期、学年での指導に生かすための教員の振り返りの機会を確保するもの。

【1-(1)-③】 関係課<学校教育課>

施策・事業名	施策・事業の目的と内容
<p>教育データを活用した学習指導の推進◆</p>	<p>すべての児童生徒にこれからの時代に求められる資質・能力を身に付けさせ、一人一人のよさや可能性を引き出すためには、<u>学習履歴（スタディ・ログ）※1</u>をはじめとした様々な教育データを蓄積・分析・活用◆^{〔G〕}して、きめ細かな指導や学習評価を行うなど、個別最適な学びの充実を図ることが必要であり、今後は、本市「<u>学習内容定着度調査のCBT化※2◆</u>」の検討と併せて、<u>学習履歴の活用に係る先進事例について調査研究◆</u>を進め、教育データを活用した学習指導を推進します。</p> <p>また、児童生徒に確かな学力を育むためには、各学校、各種学力調査結果や<u>A I型個別学習ドリルの取組状況等の教育データを活用◆</u>して児童生徒の状況及び学習指導の成果と課題を把握し、改善を図る学力向上のPDCAサイクルを構築して、組織的に取り組むことができるよう、学校個別の課題に応じた指導助言の充実を図ります。</p>

※1 「学習履歴（スタディ・ログ）」 … 個人ごとの学習等に関する記録やデータの総称（例：学習記録、成果物の記録、成績・評価情報など）。

※2 「学習内容定着度調査のCBT化」 … 「学習内容定着度調査」とは、市が独自に12月に行う学力調査で、学校が児童生徒の学習内容の定着度を把握して学習指導の工夫・改善を図るとともに、児童生徒が年間の学習内容の見直しや復習に生かすもの。また、「CBT」とは、「Computer Based Testing（コンピュータ ベースド テスティング）」の略称で、コンピュータを使用したテスト方式。従来の紙を使用したテストからCBTへ移行することで、学習内容定着度調査の採点・分析業務等の効率化を図るとともに、蓄積された教育データを活用して学習指導の工夫改善を推進する。

学校が取り組むこと

- 義務教育9年間の系統性を生かした指導の充実を図ります。1-(1)-①

- ・ 「小中一貫教育カリキュラム」を活用した指導の工夫改善
- ・ 各期の終わりの児童生徒の状況を確認し、指導改善に取り組むPDCAサイクルの充実
- ・ 授業中の学習態度や家庭学習の習慣の指導

- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進します。1-(1)-②

- ・ 「宇都宮モデル」を活用した授業改善の推進
- ・ 1人1台端末などのデジタル機器の効果的な活用
- ・ 小学校高学年における教科担任制の推進
- ・ 習熟度別学習等によるきめ細かな指導の充実

- 教育データを活用した学習指導を推進します。1-(1)-③

- ・ 学力調査の結果などを活用したPDCAサイクルの構築
- ・ AI型個別学習ドリルなどの学習履歴を活用した学習支援の充実



宇都宮モデル

—宇都宮版— 「主体的・対話的で深い学び」
授業は「はっきり！じっくり！すっきり！」と



はっきり！

学習課題と「見通し」から、本時で行うことははっきり理解させ、課題解決の意欲をもたせる。

追究活動充実のため、コンパクトにしましょう。

問いをもつ

解決への見通しを立てる

「どのような予想が立てられるか」
「どのように調べたらよいか」
「これまで学んだことで活用できそうなことはないか」
「時間はどれくらい必要か」と問いかけるなど、視点を明確にしましょう。



じっくり！

児童生徒一人一人の学びを見とり、適切に支援し、じっくり課題に取り組ませる。

対話の充実のために、児童生徒がつなぎことばを上手に使えるようにしましょう。

漠然とほめるのではなく、その子の「よさ」を具体的に伝え、価値付けすることが大切です。

児童生徒の不十分な発言や誤答をきっかけに学びを深める指導も大切です。

自力で課題解決にあたる

交流して課題解決にあたる

根拠や言い換えを求める、議論を整理して焦点化する、気付いていない視点を提示するなど、議論を深め、言語活動を充実させるコーディネートが大切です。



すっきり！

課題に対する結論をすっきりまとめ、本時の学習を振り返らせる。

学んだことを「活用」できるようにするため、しっかり定着させることが大切です。

まとめる・振り返る

宿題

学べば
愉快だ
宇都宮

UTSUNOMIYA



※ 指導上のポイントなど、さらに詳しくは、次の資料をご覧ください。
『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けて（2017/1発行）
掲載場所：教育委員会キャビネット＞学校教育課＞授業力向上

基本目標1 成長し続けるための基盤を培う

基本施策

(2) 豊かな心を育む教育の推進

「特別の教科 道徳」（以下、道徳科）の授業を柱として、認め励ます教育やたくましさの涵養に取り組むとともに、体験活動との関連を生かした指導の充実を図るなどする「宮っ子心の教育」を一層推進し、これからの時代を生きる児童生徒に必要な資質・能力である自己肯定感や、目標に向かって挑戦するたくましさ、規範意識、思いやりなどを育みます。また、文化・芸術活動、自然体験活動、読書活動を推進し、豊かな感性を育みます。

各施策・事業の展開

◆は新規事業、◇は拡充事業、〔G〕はGIGAスクールとの関連、〔園〕は小中一貫教育・地域学校園制度との関連

【1-(2)-①】 関係課<学校教育課>

施策・事業名	施策・事業の目的と内容
<p>重点</p> <p>「宮っ子心の教育」による認め励ます教育やたくましさの涵養などの推進</p>	<p>児童生徒に、自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、小・中学校9年間の系統的な指導を生かし、道徳科の充実、認め励ます教育の推進、たくましさの涵養を図る「宮っ子心の教育」◇〔園〕を推進します。</p> <p>具体的には、地域学校園及び各学校の道徳教育の重点目標を明確にした上で、「宮っ子心の教育」指導事例集※1◇や道徳科地域教材※2を活用するなどして、ねらいとする道徳的価値や生き方について考えを深める道徳科の指導の充実を図り、児童生徒の道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育むとともに、児童生徒指導の機能を充実させ、道徳性や道徳的実践力を一層確かなものとして養います。</p> <p>また、家庭や地域と連携して日頃から児童生徒一人一人のよさや小さな努力の積み重ねを認め励ます指導を推進し、また、「宮っ子心の教育表彰」※3に取り組むことにより、児童生徒の自信や自己有用感を育むとともに、「(仮)コロナ・リカバリープラン」※4◆として、運動会、体育祭などの学校行事や冒険活動教室などの体験活動、部活動などにおいて、児童生徒が目標をもって挑戦し、あきらめずに粘り強く取り組むことが必要な場面や自分の成長を振り返る活動を設定し、集団の中で切磋琢磨する体験や困難を乗り越える体験を生かした指導の充実を図ることにより、たくましさを涵養します。</p> <p>さらに、「心を育てる50の言葉」※5を「(仮)宮っ子ダイアリー」に掲載し活用することにより、日本人が大切にしてきた生き方や考え方への関心を高めます。</p>

※1 『宮っ子心の教育』指導事例集 … 「宮っ子心の教育」の考え方や推進の手立てを示すとともに、道徳科の授業と学級活動や学校行事などの各教育活動との関連を図る事例を紹介する指導資料。

- ※2 「道徳科地域教材」 … 児童生徒が地域に愛着をもつとともに、ねらいとする道徳的価値についての理解を深め、自らの（人間としての）生き方についての考えを深められるようにするため、本市ゆかりの人や自然、伝統文化を題材として独自に作成した教材。
- ※3 「宮っ子心の教育表彰」 … 教育委員会賞（対象：小6生、中3生のうち、「宮っ子の誓い」の趣旨を踏まえ、秀でた行動を実践している各校1名の児童生徒）、教育長奨励賞（対象：校内での善行や活躍などについて、各校の児童生徒表彰を受けた者のうち各校の学級数を上限として校長から申請のあった児童生徒）を設け、表彰するもの。
- ※4 「(仮) コロナ・リカバリープラン」 … コロナ禍で失われた様々な学習機会や体験活動を回復させ、教育活動の充実を図る。
- ※5 「心を育てる50の言葉」 … 日本人が大切にしてきた生き方や考え方への関心を高め、その継承を図っていくために、全児童生徒に配付する「(仮) 宮っ子ダイアリー」に、ことわざや偉人の名言等を、発達の段階を踏まえて50ずつ掲載し、これらの言葉について学校や家庭で考える機会を設ける。

【1-(2)-②】 関係課＜学校教育課・生涯学習課・文化課・スポーツ振興課＞

施策・事業名	施策・事業の目的と内容
<p>豊かな感性を育む 機会の充実</p>	<p>児童生徒に、豊かな感性を育むため、文化・芸術活動、自然体験活動、読書活動を推進します。</p> <p>具体的には、ミュージカル鑑賞会やトビダス美術館、ふれあい文化教室や伝統文化体験教室、また、各学校の音楽鑑賞教室や演劇鑑賞教室など、芸術・文化作品の鑑賞及び伝統文化体験を通して、児童生徒の芸術・文化に対する関心を高め、美しいものを愛する心を育てていきます。</p> <p>また、冒険活動教室等における自然体験や成功・失敗体験、<u>小中学生の交流活動^{〔関〕}</u>等の豊かな体験活動を通して、児童生徒が自らのよさを生かしながら学ぼうとする意欲、協調性や忍耐力、望ましい人間関係、社会性を育てていきます。</p> <p>さらに、朝の一斉読書などの全校的な読書活動の推進に努め、児童生徒の読書の幅を広げ、質を高めるとともに、「巡回図書」などを実施している市立図書館とも連携し、生涯にわたって読書に親しむ態度を育てていきます。</p>

学校が取り組むこと

- 「宮っ子心の教育」において、認め励ます教育、たくましさの涵養などを推進します。

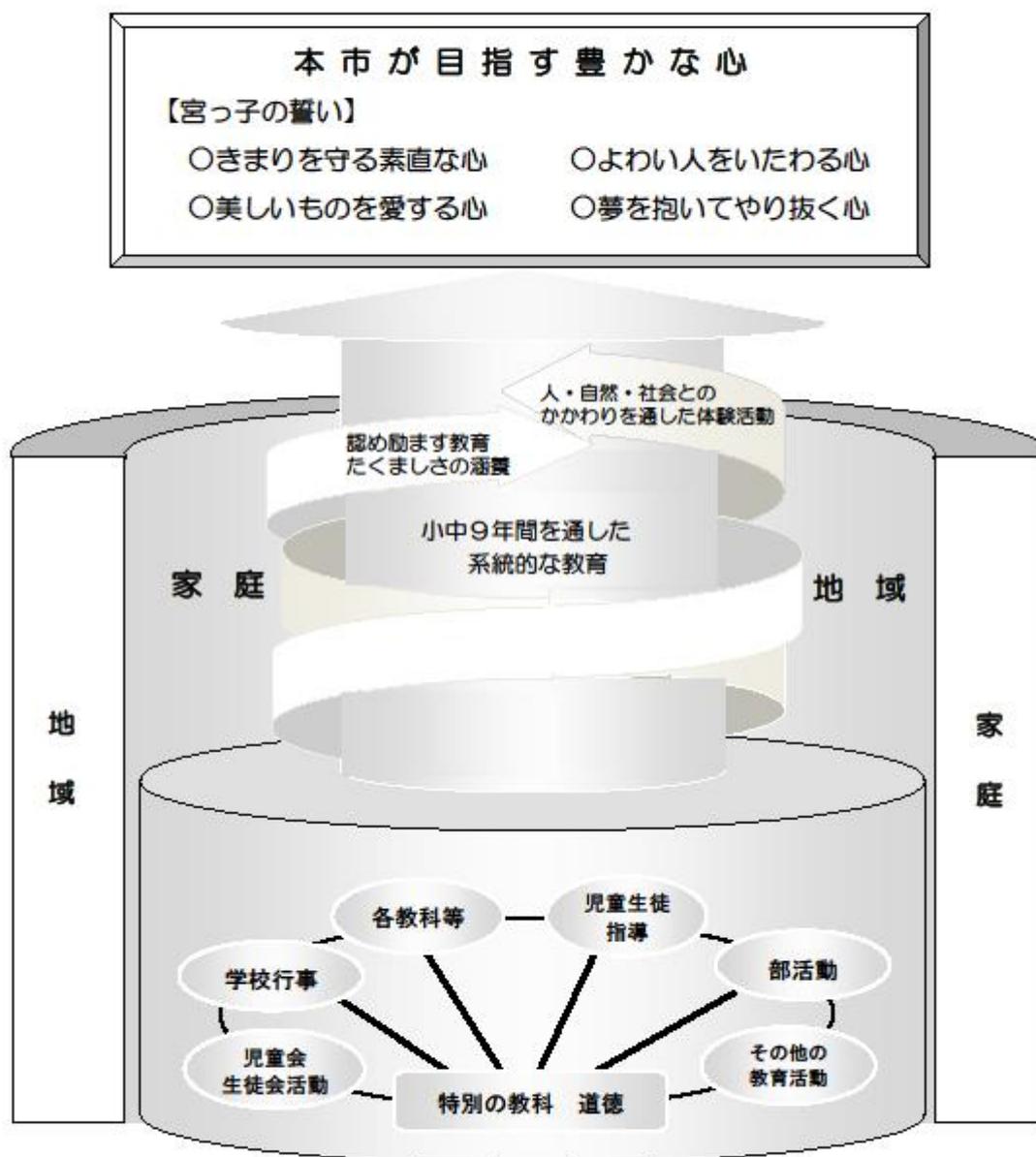
1-(2)-①

- ・ 道徳的価値について考えを深める「道徳科」の授業の充実
- ・ 児童生徒のよさや努力を認め、励ます指導の充実
- ・ 目標を立てて挑戦し、困難を乗り越える教育活動の充実

- 豊かな感性を育む機会の充実を図ります。1-(2)-②

- ・ 文化・芸術活動や自然体験活動の推進
- ・ 読書活動の推進

「宮っ子心の教育」のイメージ



基本目標1 成長し続けるための基盤を培う

基本施策

(3) 健康で安全な生活を実現する力を育む教育の推進

児童生徒一人一人が健康で安全な生活を送ることができる資質・能力を身に付けられるよう、学校における体力・保健・食育・安全に関する各教育を着実に推進します。

また、教科横断的な教育活動である「元気アップ教育」を核として、4つの教育を一体的に捉え、健康教育として推進することにより、各教育で身に付けた資質・能力を関連付けてより適切に判断し、行動できる力を育みます。

各施策・事業の展開

◆は新規事業、◇は拡充事業、〔G〕はGIGAスクールとの関連、〔園〕は小中一貫教育・地域学校園制度との関連

【1-(3)-①】 関係課<学校健康課>

施策・事業名	施策・事業の目的と内容
重点 体力向上の推進	<p>児童生徒が、運動の楽しさに触れ、生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を身に付けることができるよう、体力の向上を推進します。また、「(仮)コロナ・リカバリープラン」◆として、コロナ禍等の影響により、減少傾向にあった運動の機会を以前の水準に戻すとともに、児童生徒の体力の状況に応じて、効果的な体力向上の取組を推進します。</p> <p>小・中学校においては、児童生徒の体力の実態を把握し、自己の体力への理解を深めるため、全児童生徒を対象に「うつのみや元気っ子健康体力チェック」◇〔園〕を実施するとともに、結果を分析して、児童生徒の体力の特徴や傾向を踏まえた体力向上の取組を推進します。</p> <p>また、児童生徒に身に付けさせたい体力や技能を「うつのみや版ミニマム」として示し、達成に向け、継続的に取り組むとともに、学級やグループ、個人で楽しみながら運動に挑戦し、体力づくりに取り組む「うつのみや元気っ子チャレンジ」に加えて、児童生徒が休み時間や放課後、休日などに個人で取り組むことができる「元気っ子チャレンジ特別版」◇を実施し、運動機会の創出に努めます。</p>



【1-(3)-②】 関係課<学校健康課>

施策・事業名	施策・事業の目的と内容
学校保健の推進	<p>児童生徒が、自己の心身を大切にし、生涯を通して、健康を適切に管理する資質・能力を身に付けることができるよう、学校保健を推進します。</p> <p>小・中学校においては、保健教育の充実を図るとともに、小学校3年生を対象とした「歯の健康教室」、関係機関と連携を図った「薬物乱用防止教室」、中学校3年生を対象とした「性教育サポート事業」を実施するなど、児童生徒の実践につながる指導に努めます。</p> <p>また、児童生徒の健康の保持増進を図るため、家庭や専門機関と連携しながら、心の健康に関する教育の充実[◇]を図るとともに、定期健康診断の結果の活用、感染症の予防、学校環境衛生検査の実施や適切な事後措置、シックスクール問題対策などの取組を推進します。</p> <p>さらに、1人1台端末をはじめとしたデジタル機器等を日常的に活用することによる健康面への影響について、デジタル活用時の安全かつ効果的に活用する習慣・知識など、健康面への配慮に関する教育^{◆^{〔6〕}}に取り組みます。</p>

【1-(3)-③】 関係課<学校健康課>

施策・事業名	施策・事業の目的と内容
食育の推進	<p>児童生徒が、食に関する正しい知識や望ましい食習慣を身に付け、生涯を通して、健全な食生活を実現するために必要な資質・能力を身に付けることができるよう、食育を推進します。</p> <p>小・中学校においては、給食の時間や教科等において、全校に配置した学校栄養士と担任等が十分に連携し、栄養や食事マナーなど食に関する指導の充実[◇]を図ります。</p> <p>また、学校給食において、郷土料理や行事食等の提供を通して、児童生徒が自分たちの住む地域や日本の食文化への理解を深められるよう、食文化の学習の推進[◇]を図ります。</p> <p>さらに、学校で習得したことが日常生活において実践できるよう、「お弁当の日」の実施^{〔圖〕}などを通して、学校と家庭が一体となった取組を推進します。</p>

【1-(3)-④】 関係課<学校健康課>

施策・事業名	施策・事業の目的と内容
学校安全の推進	<p>児童生徒が、危険を予測し、自らの命を守り抜くための行動力を身に付け、生涯を通して、安全な生活を送り、安全な社会づくりに貢献できる資質・能力を身に付けることができるよう、学校安全を推進します。</p> <p>小・中学校においては、適切な意思決定や行動選択ができる力を身に付けることができるよう、不審者対応避難訓練や交通安全教室、<u>災害を想定した避難訓練</u>を実施するなど、「生活安全」・「交通安全」・「災害安全」に関する教育の充実を図ります。</p> <p>また、家庭や地域、関係機関等と連携し、通学路の合同点検や登下校の見守り活動を行うなど、登下校における安全対策を推進します。</p>

学校が取り組むこと

- 「元気アップ教育」において体力向上を推進します。1-(3)-①

- ・ 「うつのみや元気っ子健康体カチェック」の実施と活用
- ・ 「うつのみや版ミニマム」の達成に向けた取組
- ・ 「うつのみや元気っ子チャレンジ」の活用による運動機会の創出

- 「元気アップ教育」において学校保健を推進します。1-(3)-②

- ・ 「歯の健康教室」の実施
- ・ 「性教育サポート事業」の実施
- ・ 心の健康に関する教育の充実

- 「元気アップ教育」において食育を推進します。1-(3)-③

- ・ 給食の時間や教科等における食に関する指導の充実
- ・ 食文化の学習の推進
- ・ 「お弁当の日」の実施

- 「元気アップ教育」において学校安全を推進します。1-(3)-④

- ・ 「不審者対応避難訓練」の実施
- ・ 「交通安全教室」の実施
- ・ 「災害を想定した避難訓練」の実施

基本目標1 成長し続けるための基盤を培う

基本施策

(4) 将来への希望と協働する力を育む教育の推進

特別活動を柱として、地域の教育力を生かした体験活動や義務教育9年間を通じた系統的なカリキュラムの実施などにより、社会的・職業的自立に向け必要な能力や態度を育て、望ましい勤労観・職業観の形成を図る「宮・未来キャリア教育」を一層推進します。

また、将来、社会に貢献できるよう、多様な人々と協働して課題を解決するための力を育てます。

各施策・事業の展開

◆は新規事業、◇は拡充事業、[G]はGIGAスクールとの関連、[園]は小中一貫教育・地域学校園制度との関連

【1-(4)-①】 関係課<学校教育課>

施策・事業名	施策・事業の目的と内容
<p>重点 宮・未来キャリア教育の推進</p>	<p>児童生徒が、将来への夢や希望をもって学習に取り組み、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる力を育むことができるよう、特別活動を中心に、小・中学校9年間を通じた系統的なカリキュラムや家庭・地域と連携・協力した取組を展開するとともに、『<u>『宮・未来キャリア教育』指導資料</u>』◇を活用したキャリア教育の一層の充実を図ることにより、小・中学校での「<u>『宮・未来キャリア教育』</u>」[園]を推進します。</p> <p>小学校においては、各教科等の学習や体験を通して働くことの大切さを学ぶとともに、「<u>『小学校6年生の進学先中学校訪問』</u>」[園]を実施します。中学校においては、中学校2年生全員を対象とした「<u>『社会体験学習(宮っ子チャレンジウィーク)』</u>」※1を実施します。</p> <p>また、「<u>『(仮)コロナ・リカバリープラン』</u>」◆として、学校行事や体験活動の実施をコロナ禍前の水準に戻すことで、児童生徒の心と体の回復を図るとともに、将来への夢や目標をもち、職業への関心を高めることができるよう「<u>『(仮)宮っ子『夢』教室』</u>」※2◆を実施します。</p> <p>さらに、児童生徒が自己のキャリア形成にとって重要な学習活動を振り返り、それらの学びを通じた自らの成長や変容を自己評価できるよう、「<u>『宮・未来キャリア・パスポート』</u>」※3◇を活用します。</p>

※1 「社会体験学習(宮っ子チャレンジウィーク)」… 全市立中学校2年生が連続する5日間(月曜日から金曜日まで)、受け入れ先において担当者の指導を受けながら行う職場体験等の活動。

※2 「(仮)宮っ子『夢』教室」… 将来への夢や希望、目標をもたせたり、様々な職業への関心を高めたりすることを目的とした体験活動等の事業。

※3 「宮・未来キャリア・パスポート」… 児童生徒が学習や生活の見通しを立て、学んだことの振り返りを記録し、蓄積する教材。

【1-(4)-②】 関係課<学校教育課・子ども未来課>

施策・事業名	施策・事業の目的と内容
社会に参画し、協働する力を育む教育の推進	<p>集団活動を通して自己のよさに気付くとともに、多様な人々と協働して課題解決していくことができる資質・能力を育むため、学級活動、児童会・生徒会活動のほか、子どもの意見表明の機会を充実させ、自己有用感を高めるとともに、関係機関や地域の人々との連携を図りながら、社会に参画する意識を育みます。</p> <p>また、「地域未来会議」※1の実施、各小・中学校における主権者教育及び租税教育の推進により、社会を支える一員としての自覚を養います。</p> <p>さらに、市議会が主催する「議会体験」※2への参加を通して、議会の雰囲気を疑似体験し、議会や身近な政治への関心を高めます。</p>

※1「地域未来会議」… 各中学校の生徒会役員らが、「魅力ある学校づくり地域協議会」※3の委員等の地域の方々と、世代を越えて学校や地域の未来などについて議論するもの。

※2「議会体験」… 小・中学生が市議会議場で、議長、議員、市長等の席に座り、議案に対する質疑を体験するなどして、主権者意識を育むもの。

※3「魅力ある学校づくり地域協議会」… 地域の教育力を生かして、学校教育の充実を図る取組や家庭教育力向上のための事業等を実施し、学校・保護者・地域が一体となって、地域に根ざした活力ある学校づくりを目指すもの。各学校に設置され、学校代表・PTA代表・地域諸団体代表等によって構成される。

学校が取り組むこと

○ 「宮・未来キャリア教育」を推進します。1-(4)-①

- ・ 児童生徒による事業所等での体験活動（宮っ子チャレンジウィーク等）の実施
- ・ 「宮・未来キャリア・パスポート」の活用
- ・ 職業人や専門家等を講師とした出前授業の実施（小学校）

○ 社会に参画し、協働する力を育む教育活動を推進します。1-(4)-②

- ・ 学級活動、児童会・生徒会活動を基盤とした、主権者教育の充実
- ・ 「地域未来会議」の実施（中学校）



基本目標 2

未来を生き抜く力を養う

目指す姿

(1) 児童生徒は、英語を使って外国人とコミュニケーションを図る力や多様な文化を理解し、共生しようとする態度を身に付けているとともに、郷土・宇都宮や日本の伝統・文化に愛情と誇りをもっています。

⇒指標①・補足指標①・②

(2) 児童生徒は、自律した情報の使い手になるために必要となる資質・能力を身に付けています。

⇒指標②

(3) 児童生徒は、少子高齢社会や人権、平和、環境等の現代的な諸課題に向き合い、解決を図ろうとする学習活動を通して、持続可能な社会の実現に向けて、主体的に参画しようとする態度を身に付けています。

⇒指標③

指 標

指 標 名	現状 2021 (R3)	目 標				
		2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)
① C E F R A 1 程度 (英検 3 級程度) の英語力を有する中 3 生の割合 (%) 〔英語教育実施状況調査〕	41.3	45.0	48.0	52.0	56.0	60.0
② 「パソコンを使って、相手に分かりやすく自分の考えや調べたことを伝えることができる」と回答した中 3 生の割合 (%) 〔学習と生活についてのアンケート〕	79.4	80.5	81.6	82.7	83.8	85.0
③ 「社会で問題になっていることについて、どうすればよいかを考えたことがある」と回答した中 3 生の割合 (%) 〔学習と生活についてのアンケート〕	73.9	75.1	76.3	77.5	78.7	80.0

【補足指標】

指 標 名	現状 2021 (R3)	目 標				
		2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)
① 「他国の人々や文化について理解し、尊重しようとしている」と回答した中 3 生の割合 (%) 〔学習と生活についてのアンケート〕	捕捉中	87.0	89.0	91.0	93.0	95.0
② 宇都宮市の「よさ」を紹介できる中 3 生の割合 (%) 〔学習と生活についてのアンケート〕	60.7	62.2	63.7	65.2	66.6	68.0
③ 「インターネットを活用するとき、正しいかどうかよく考えて情報を得ており、また、責任をもって情報を発信している」と回答した中 3 生の割合 (%) 〔学習と生活についてのアンケート〕	捕捉中	87.0	89.0	91.0	93.0	95.0
④ 「調べたことをコンピュータを使ってまとめることができる」と回答した中 3 生の割合 (%) 〔学習と生活についてのアンケート〕	86.2	87.2	88.2	89.2	90.1	91.0

基本目標2 未来を生き抜く力を養う

基本施策

(1)

グローバル社会に主体的に向き合い、
郷土愛を醸成する教育の推進

グローバル社会で求められる、英語によるコミュニケーション能力の向上や郷土への愛情と誇りの醸成を図るため、英語教育や国際理解教育の充実に努めるとともに、郷土・宇都宮について理解を深める「宇都宮学」の充実に努めます。

各施策・事業の展開

◆は新規事業、◇は拡充事業、[G]はGIGAスクールとの関連、[園]は小中一貫教育・地域学校園制度との関連

【2-(1)-①】 関係課<学校教育課・国際交流プラザ>

施策・事業名	施策・事業の目的と内容
重点 英語教育・国際理解教育の充実	<p>児童生徒が、英語によるコミュニケーション能力を確実に身に付けることができるよう、外国語指導助手（ALT）の活用などにより授業を充実させるとともに、本市独自の<u>小学校低学年からの外国語活動</u>※1〔園〕の実施、<u>授業以外の時間を利用したALTとの交流</u>◇などにより、英語でコミュニケーションを図る機会を充実させるなどして英語教育の強化に努めます。</p> <p>また、児童生徒の英語力の向上を図るため、児童生徒の<u>客観的な英語力を判定するための外部検定の導入</u>◆について検討するなど、英語教育の取組の効果の検証及び改善に努めます。</p> <p>こうした取組に加え、英語力向上推進事業として<u>イングリッシュキャンプ</u>※2や<u>オンライン英会話</u>※3◆〔G〕を実施するとともに、<u>異文化を理解するための学習活動</u>※4◆や<u>姉妹都市への中学生の派遣事業</u>などを通して、国際理解教育を推進します。</p>

※1「小学校低学年からの外国語活動」… 小学校1・2年生が、年10時間ずつ本市のALTと担任による外国語活動を行い、コミュニケーション能力の素地を養うもの。

※2「イングリッシュキャンプ」… 希望する児童生徒が本市ALTと自然の中で共に活動することにより、英語力の向上や、外国人とも積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図るもの。

※3「オンライン英会話」… 希望する児童生徒が本市ALTとオンライン環境を利用し英会話活動を行うことにより、英語力の向上や、外国人とも積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図るもの。

※4「異文化を理解するための学習活動」… ALTの出身国の文化紹介や交流、グローバルな視野で他者と協働した課題解決学習などにより、異文化や異なる文化をもつ人々への理解促進を図るもの。

【2-(1)-②】 関係課<学校教育課・文化課>

施策・事業名	施策・事業の目的と内容
郷土への愛情を育む学習の推進	<p>郷土・宇都宮や日本の伝統や文化について理解し、郷土への愛情と誇りをもてるようにするため、総合的な学習の時間等の授業で「宇都宮学」※1〔圖〕を実施します。また、宇都宮市にゆかりのある「百人一首」に親しむ学習〔圖〕を実施するとともに、児童生徒も参加できる「百人一首」の市民大会を開催します。</p> <p>また、「伝統文化体験教室」※2により、日本の伝統文化を尊重する態度を育みます。</p>

※1「宇都宮学」… 宇都宮の歴史や伝統文化、産業等について理解を深める学習。小学校では令和2年度、中学校では令和3年度に開始。

※2「伝統文化体験教室」… 伝統文化に関する活動を行っている保存団体や継承者が学校へ赴き、児童生徒に伝統文化を体験させる活動を実施するもの。獅子舞や黄ぶな絵付けなど行っている。

学校が取り組むこと

○ 英語教育・国際理解教育の充実を図ります。2-(1)-①

- ・ 英語によるやりとりを中心とした授業の推進
- ・ A L Tを活用した生きた英語に触れる機会の充実
- ・ 多様な文化に触れる学習の実施

○ 郷土への愛情を育む学習の充実を図ります。2-(1)-②

- ・ 「宇都宮学」の指導の充実
- ・ 「百人一首」に親しむ学習の推進



基本目標 2 未来を生き抜く力を養う

基本施策

(2) 情報社会と科学技術の進展に対応した教育の推進

情報社会において不可欠な情報活用能力の育成を図ります。

情報技術については、情報通信機器の特性を十分に理解し、使いこなして効果的な学習ができるよう、1人1台端末を日常的に活用するとともに、プログラミング教育の充実を図り、コンピュータに意図した処理を行わせるための論理的思考力を育成します。また、情報社会において主体的かつ当事者意識をもって情報を活用し、社会や個人の課題を解決する力を身に付けられるよう、自律した情報の使い手を育む教育を推進します。

さらに、様々な先進技術を活用した授業や出前講座等を実施するなどして、科学技術の進展に向き合う態度を育みます。

各施策・事業の展開

◆は新規事業、◇は拡充事業、[G]はGIGAスクールとの関連、[関]は小中一貫教育・地域学校園制度との関連

【2-(2)-①】 関係課<教育センター・学校教育課>

施策・事業名	施策・事業の目的と内容
重点 自律した情報の使い手を育む教育の充実	<p>「第3次宇都宮市学校ICT化推進基本計画」に基づき、1人1台端末を日常的に活用していく中で、<u>デジタル・シティズンシップ教育◆^[G]</u>の推進を図り、自ら判断し、責任をもって他者や社会と関わりながら、主体的に学ぶ力を身に付けます。</p> <p>また、「情報モラル教育年間指導計画」や「スマホ・ケータイ宮っ子ルール共同宣言」に基づき、「ノースマホ・ノーゲームデー」を実施するなどして体系的に児童生徒の情報モラルを育みます。</p> <p>さらに、プログラミング学習や<u>1人1台端末の効果的な活用◆^[G]</u>を通して、コンピュータに意図した処理を行わせるための論理的思考力を育成します。</p> <p>そして、図書の活用や「NIE」の推進※¹により、児童生徒に情報を収集する力、情報を読み取る力等を身に付けさせます。</p>

※1 「NIE」 … 「Newspaper In Education：教育に新聞を」の略称。学校などで新聞を教材として活用すること

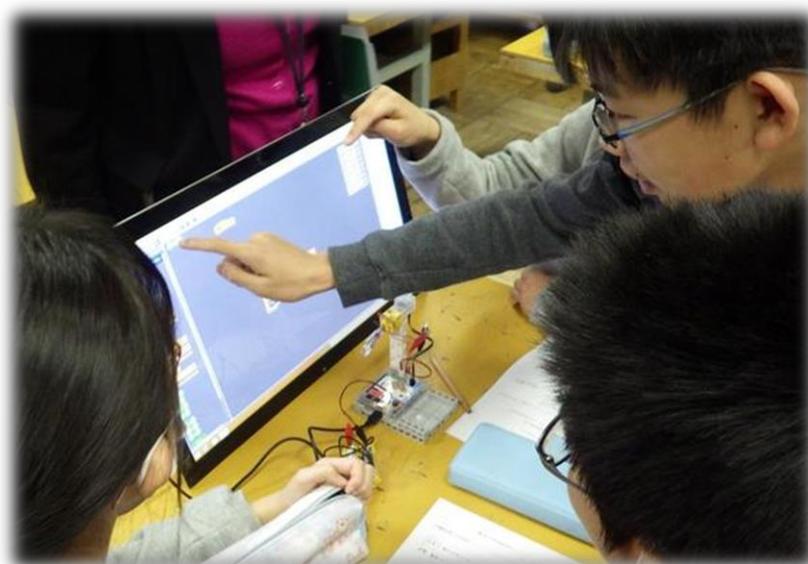
【2-(2)-②】 関係課<教育センター・学校教育課>

施策・事業名	施策・事業の目的と内容
先進技術に触れる教育活動の推進	<p>児童生徒が、日常的に1人1台端末を活用^{◆〔G〕}し、コンピュータに親しみ、広く生活の中で役立つデジタルの仕組みや可能性に気づくとともに、急激な社会の情報化に向き合い、デジタルを積極的に課題解決のために活用していけるよう、AI等の様々な先進技術に触れることができる体験教室^{◆〔G〕}等を実施します。</p> <p>また、高等学校で行うSTEAM教育等の基盤となる資質・能力の育成を図るため、「(仮)宮っ子『夢』教室」等を活用[◆]した先進技術に触れる機会の創出や、VR、ARや3D都市モデル等のコンテンツを活用した学習活動^{◆〔G〕}など、様々な先進技術を活用した学習活動を行う「(仮)U-STEAM学習」[◆]を展開します。</p>

学校が取り組むこと

○ 情報活用能力を育む教育の充実を図ります。2-(2)-①

- ・ 情報モラルを育む指導の推進
- ・ プログラミング教育の推進
- ・ 1人1台端末の効果的な活用
- ・ 図書を活用して資料や情報を収集する学習の推進
- ・ 「NIE」の推進



基本目標2 未来を生き抜く力を養う

基本施策

(3) 持続可能な社会の実現に向けた担い手を育む 教育の推進

将来を担う児童生徒が、実社会や多様な人々との関りを通して望ましい未来を描き、社会の一員として持続可能な社会の実現に寄与していこうとする自覚を養うとともに、これから社会参画していくための手がかりを得たり、実践力等を身に付けたりするため、「(仮)SDGs宮っ子まちづくりプロジェクト」^{◆※1}を展開し、「地域未来会議」等で挙げられた地域の課題や人権、平和に係る課題、脱炭素社会構築への取組等の環境に係る課題など、持続可能な社会の実現に向けた諸課題から、自分たちが課題解決のために貢献できることについて話し合い、実践することを通して、持続可能な社会の実現に向けた担い手を育むための教育を推進します。

また、児童生徒に必要となる資質・能力を育むため、教科等横断的な視点に立ち、各教科等の関連付けを図りながら教育課程の編成し、「カリキュラム・マネジメントの充実」[◆]に取り組みます。

※1 「(仮)SDGs宮っ子まちづくりプロジェクト」… 地域や人権、平和、環境等に係る課題から、課題解決のために自分たちが貢献できる活動を見いだし、実践を伴った学習活動を行うことで、持続可能な社会の実現に向けた担い手に必要となる資質・能力を育むもの。

各施策・事業の展開

◆は新規事業、◇は拡充事業、〔G〕はGIGAスクールとの関連、〔園〕は小中一貫教育・地域学校園制度との関連

【2-(3)-①】 関係課<学校教育課>

施策・事業名	施策・事業の目的と内容
地域を支える力を育む教育の推進 [◇]	人口減少や高齢化がこれまで以上に進行することが予測される地域社会を、自ら支えていこうとする児童生徒を育てるため、中学校版「宇都宮学」副読本 ^{※1} や関係課が実施する講座 ^{※2} を活用した学習に加え、参加体験型学習 ^{※3} の充実を図り、地域社会の抱える課題や解決に向けた取組等について理解と関心を深めるとともに、「地域未来会議」など、地域の方々とともに考える協働的な活動を推進し、社会参画意識を高めます。

※1 「宇都宮学」副読本の内容… 「誰もが住みやすいまちの実現を目指して」子育て、高齢社会、NCC等

※2 関係課が実施する講座の例… 認知症サポーター養成講座（高齢福祉課）

※3 参加体験型学習の例… 中学・高校生と乳幼児のふれあい体験事業（保育課）、各校が実施している高齢者及び障がい者福祉施設との交流活動等。

【2-(3)-②】 関係課<学校教育課・男女共同参画課・文化課>

施策・事業名	施策・事業の目的と内容
人がともに支え合う社会の担い手を育む教育の推進◇	すべての人々の人権が尊重され、相互に共存することができる平和で豊かな社会の実現に向け、主体的に参画する児童生徒を育成するため、各教科や「宇都宮学」※1等の年間指導計画に、関係課による人権※2や平和※3に関連する資料や事業の活用を計画的に位置付け、「固定的性別役割分担意識」や「アンコンシャス・バイアス」※4の解消など、男女共同参画の視点に立った人権教育や、「平和親善大使広島派遣事業」の推進など、平和に関する参加体験型学習の充実を図り、主体的・協働的に解決しようとする態度を育む教育活動を推進します。

※1 中学校版「宇都宮学」副読本の内容 … 「多文化が共生する宇都宮のまちづくり」

※2 人権教育に関連する資料 … 宇都宮市男女共同参画教育参考資料「かがやき」、特別リーフレット「いろいろな性 いろいろな生き方」(男女共同参画課より小学校5年生に配付)
人権教育に関連する事業 … 「デートDV防止出前講座」(男女共同参画課)

※3 平和教育に関連する資料 … 「うつのみやの空襲」(文化課より小学校6年生に配付)

平和教育に関連する事業 … 戦争体験者による「宇都宮空襲 未来へつなぐ」平和啓発動画、「語り部・語り継ぎ講演会」動画、「平和親善大使広島派遣事業」平和啓発動画、広島平和祈念館「被爆体験伝承者等派遣事業」(男女共同参画課)

※4 「アンコンシャス・バイアス」 … 無意識の思い込みのこと。

【2-(3)-③】 関係課<学校教育課・環境政策課>

施策・事業名	施策・事業の目的と内容
身近な環境を守ろうとする態度を養う教育の推進◇	持続可能な社会づくりに主体的に参画する児童生徒を育成するため、各教科や「宇都宮学」※1等において、環境や環境に配慮した消費生活等に関連する資料や講座、事業※2◇等を活用しながら、環境教育及び消費者教育を推進するとともに、参加体験型学習の充実を図り、主体的・協働的に解決しようとする態度を育む教育活動の充実を推進します。

※1 中学校版「宇都宮学」副読本の内容 … 「経済の発展と環境への配慮」

※2 環境教育に関連する資料例 … 「みどりはともだち」(景観みどり課)、「ぼくたち、わたしたちのくらしを考えよう」(栃木県消費生活センター)

環境教育に関連する講座例 … 「地球温暖化の問題を考えよう」「宇都宮のもったいない運動」等(環境政策課)、「生物多様性って何」(環境保全課)、「今日から実践『3Rでエコイッ!』」(ごみ減量課)

環境教育に関連する事業 … 「みやエスクール認定制度」(環境政策課)、「(仮)学校版『もったいない運動』」の実施◇(環境政策課、学校教育課)、「市施設めぐり」クリーンパーク等の施設見学(学校教育課)

学校が取り組むこと

- 地域や社会、環境などについて考える教育活動を推進します。2-(3)-①, ②, ③

- ・ 「地域未来会議」の実施(中学校)
- ・ 総合的な学習の時間などにおける地域や社会、環境等をテーマとした学習の推進